

2009年2月1日

白樺教育館 落成5周年



白樺の仲間になりませんか？

4年ぶりに新入生を募集します。

自分の頭をよく使って、意味をつかむ学習をしてみよう！
それが、心の自立と健康も生む。

受験第一の勉強は、ステレオタイプの「一般人」しか作りません。

「私」を活かす = 主観性の知を育てるには、意味の探求が必要です。



主観性の知とは、考える、対話する、文を作る、想い、生み出す、表現する、
感受する力を高める、センスを磨く、豊かな感情をひらく、企画する、設計する、
選び取る、評価する、判断する……という能動的な知のことです。

問題と解答を直結させるパターン認識ではなく、失敗を繰り返し、
経験に照らしながら考えるという作業が、頭の幹を強くするのです。

Since 1976 **白樺教育館** 2009

授業の曜日・時間・内容

小学クラス

月・火・木・金から2回ないし1回選択。算数・国語中心。

Aクラス 午後4時10分～5時25分

Bクラス 午後5時40分～6時55分

授業は学校の進度に合わせて行います。自分の頭で考える力をつけるための授業です。

1クラスの定員は4名(最大5名)。

中学クラス

月・木 と 火・金 の2クラス。

午後7時40分～9時30分 1クラスの定員は4名(最大5名)。

数学、英語、国語。時に社会、理科も。自ら能動的に取り組む学習をサポートします。

高校・大学クラス

土曜日 午後4時10分～7時30分

考え、聴き、語り、書く。ひろい意味での哲学の授業です。「主観性の知」を高めることが目的で、物事の本質、意味を明晰にする能力を養います。自問自答と自由対話の実践がそのための基盤です。社会人の方も参加できます。定員は8名。



社会人クラス

楽しい哲学の会 毎月第二水曜日 13:30～15:30

白樺保護者の会 毎月第三水曜日 10:00～12:00

白樺教育館は、我孫子を中心に行われた20世紀の日本最大の文化運動であった白樺派の精神 - 「私」を肯定し、自他の個性を伸ばし合うという思想 - を現代に活かす教育実践の場です。学や官の世界からも大きな評価を得ていますが、民の精神を貫くことが何より生産的だと考えています。社会人の方もぜひ「民知」の実践にご参加ください。

行事

自然の中でのびのびと。
式根島などでのキャンプ&ダイビングは、1976年から
毎年恒例です。奥多摩渓谷などへのハイキングや、
サイクリングも。
博物館、美術館へも行きます。



2008年8月



白樺教育館屋上

屋上に設置されている
大口径反射望遠鏡を使って
月面・惑星面、星雲・星団などの
天体観察もしています。



費用(白樺教育館・ソクラテス教室部門)

入会金 5000円

(兄、姉が入会している場合は無料)

月謝 (兄、姉が入会している場合は2000円減額。

週1回の場合は1000円減額)

小学クラス 週2回……9000円

週1回……5500円

中学クラス 週2回……11000円

週1回……8000円


高校大学クラス 週1回……8000円



読書&自習室

半年会費・教材費 6000円(兄、姉が入会している場合は半額)

高校大学クラスは2000円(本代は別途、実費)

白樺教育館 我孫子市 寿 1-20-1  04-7182-7853

Eメール info@shirakaba.gr.jp ホームページ 白樺教育館

我孫子市「寿保育園」通用門前

なぜ、どうして？何のため？
腑に落ちる知・納得の知は、生きることを豊かにするよ。
頭と体の全部を使って、感じ、思い、
考えると、「私」を肯定できるんだ。



館長・武田康弘のプロフィール

1952年東京神田生まれ。1976年より我孫子市在住。

白樺教育館長、我孫子市白樺文学館初代館長。

*最近の主な活動

2008年：参議院における「公共哲学と公務員倫理」のディスカッションで民主主義の哲学者としてパネラーを務める(参院ホームページで公開)。

参議院調査室の依頼により、国家公務員制度改革とキャリアシステムに関する論文を執筆 『立法と調査』に掲載(参院ホームページで公開)。中央学院大学と市民アカデミア(大阪経済法科大学主催)で哲学に関する講義と対話を行う。2009年：「東大病」ってなんだろう？と題する講演を鎌ヶ谷市中央公民館で行う。

*なお、武田の長年にわたる「意味をつかむ学習 自立した人間を育成する教育」は、哲学、教育、社会思想、芸術など各分野の方々から高く評価されている。

白樺教育館の授業(小学生～大学生、社会人)は、私・武田康弘が行っていますが、その教育の目的は、意味を明晰化する学習を通して、主観性の知(感受力、考え、表現)を育成することにあります。自分の頭を使って**意味をつかむ学習**は、心の自立と健康も生みます。パターンにあてはめるのではなく、生活世界の具体的な経験に結びつけて学ばせるのは**手間暇のかかること**ですが、それをしなければ、どのような知識も砂



上の楼阁となってしまいます。知的教育のほんらいの目的は、一人ひとりの**主観性の知を鍛える**ことですが、そのために各教科の学習は、「意味の了解」を目標として取り組まなければならないのです。それが身につくと、付和雷同しない**精神的な強さ・自立**が得られます。反対に、受験主義の勉強は、歪んだ「エリート意識」をつくり、また逆に劣等感や心の空しさを生んでしまいます。真に現実的な考えとは、外にある基準に合わせるのではなく、その子自身の**内側**に評価

の基準を置くことなのです。私は、33年間の教育と哲学の実践から自信を持ってそう断言します。

(2009.3)